

高等部重複障がい学級 社会科学習指導案（略案）

対象児童生徒	高等部 重複障がい学級（10人）
指導者	教諭 園田のん（T1） 坂本五月（T2） 岡本しのぶ（T3） 他7人
日時	令和6年10月18日金曜日 13:15～14:00
場所	ホットほととルーム

1 題材名「災害に備えて～マイタイムラインをつくろう～」

2 本時について

（1）目標と授業評価

観点	目標（評価規準）	評価
①知識・技能	○住んでいる地域にはどのような災害リスクがあるのかについて知り、災害に備えて自分の避難行動を考えることができる。	
②思考・判断・表現等	○災害の様子や発生後に起こることをイメージして、どこに・だれと・いつ避難するべきかについて考えることができる。	
③主体的に学習に取り組む態度	○避難行動について考える際には、友だちや家族と話したり、タブレットで調べたりしながら情報を収集することができる。	

（評価基準 ○：達成（80%以上） △：概ね達成（60%以上） △：一部達成（40%以上） ×：未達成（40%未満）

（2）展開

	時間	活動内容	教材教具	指導上の留意点
導入	3分	1 高等部の防災ソングを歌う。	・電子黒板 ・パソコン	・これまでの学習の流れと同じように、はじめに防災ソングを歌って、防災意識を高められるようにする。
	2分	2 学習の流れを確認する。 ・マイタイムラインとは。 ・マイタイムライン作成 わたしと家族の避難行動について考えよう。	・電子黒板	・見通しをもって学習に取り組めるように、生徒や保護者と一緒に学習内容を確認する。
展開	5分	3 マイタイムラインについて知る。 ・一人ひとりの防災行動計画 ・避難を開始する避難スイッチを明確にさせる。 ↓ 災害時に慌てずに避難することができる。	・電子黒板 ・くまもとマイタイムライン専用webサイト	・マイタイムラインとは災害時の一人ひとりの防災行動計画だということを、専用webサイトの資料を提示しながら説明する。
	5分	4 5段階の警戒レベルを確認する。	・電子黒板	・マイタイムラインを作成する前に、5段階の警戒レベルについて説明し、避難を開始する状況やタイミングを判断で

	27分	5 大雨、洪水時を想定してマイタイムラインを作成する。 ・平時の備えについて各家庭で振り返る。 ・警戒レベル1での避難行動について考える。 ・警戒レベル2での避難行動について考える。 ・警戒レベル3（★避難スイッチ）での避難行動について考える。 6 作成した内容を発表する。 ・二家庭ほど警戒レベル2・3での避難行動を発表してもらう。	・マイタイムラインシート	きるようにする。 ・グループを編成して、他の家庭と情報を交換したり、自分の住んでいる地域の特徴について話したりするなど、防災について考えを深められるようにする。 ・各家庭でイメージを持ってスムーズに作成ができるように必要に応じて例を示しながら進める。 ・他の家庭の取組や避難行動について知り、情報を交換したり共有したりして考えを深められるようにする。
まとめ	3分	7 学習の振り返りをする。		・今回は大雨や洪水を想定してマイタイムラインを作成したが、地震、津波時においても平時の備えが大切だということを伝える。

(3) 場の設定

